
**0013. 輸出入許可通知情報等
二重出力用宛先管理登録**

業務コード	業務名
UON	輸出入許可通知情報等二重出力用 宛先管理登録

1. 業務概要

輸出入許可通知情報等を、当初業務を実施した端末に出力することに加え、自社システム（SMTP及びGW）へも出力させる必要がある場合に実施する。輸出入許可通知情報等の二重出力要否、出力先利用者コード等の基本情報を登録・削除する。なお、当該業務は「輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理登録呼出し（UON11）」業務から実施することとし、当該業務を直接実施することはできない。

2. 入力者

通関業

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

（1）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（3）利用者DBチェック

①入力された利用者コード（5桁）が利用者DBに存在すること。

②入力された利用者コード（5桁）が入力者の利用者コード（5桁）であること。

（4）出力先利用者コードチェック

①入力された出力先利用者コード（5桁）が利用者DBに存在すること。

②入力された利用者コード（5桁）と出力先利用者コード（5桁）が一致すること。

③QEX出力先システム形態にnetAPIを指定した場合、入力された出力先利用者コードに係る利用者IDの6桁目が「V」のものが利用者IDDBに存在すること。

④QEX出力先システム形態にSMTP双方向を指定した場合、入力された出力先利用者コードに係る利用者IDの6桁目が「Y」のものが利用者IDDBに存在すること。

（5）利用者メールDBチェック

入力者の利用者コードとメールアドレスが利用者メールDBに存在すること。

（6）端末管理DBチェック

入力された出力端末名が端末管理DBに存在すること。

（7）論理端末所有者DBチェック

①入力された出力端末名が論理端末所有者DBに存在すること。

②入力された出力端末名が入力者の所有する端末であること。

（8）論理端末名チェック

入力された出力端末名の先頭から6文字目が「Y」または「V」であること。

（9）SMTP双方向またはnetAPIにおける出力先チェック

SMTP双方向またはnetAPIに出力する旨の入力がされた場合、「輸出・航空」「輸入・航空」「輸出・海上」「輸入・海上」のすべての区分で論理端末名または出力先利用者コードが入力されていること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 利用者DB処理

(A) 二重出力を希望する場合

二重出力する旨を登録する。

(B) 二重出力を希望しない場合

二重出力しない旨を登録する。

(3) 輸出入許可情報二重出力用E X C型宛先管理DB処理

(A) 登録の場合

入力内容を輸出入許可情報二重出力用E X C型宛先管理DBに登録する。

(B) 削除の場合(二重出力を希望しない場合を含む)

登録されている内容を輸出入許可情報二重出力用E X C型宛先管理DBから削除する。

(4) 二重出力用宛先管理情報編集処理

利用者DB、輸出入許可情報二重出力用E X C型宛先管理DBより編集処理を行う。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
二重出力用宛先管理情報	なし	入力者

7. 特記事項

C S Fオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。(規制時間帯は別途定めることとする)